



第9回 地域交流ワークショップ 「地域の課題への挑戦」

企業から見た 「つくば」における産学官連携




御案内役のLab蛙です。

茨城県 研究開発型 企業交流会 IRDA副会長
ツクバリカセイキ 株式会社 代表取締役 中山俊明

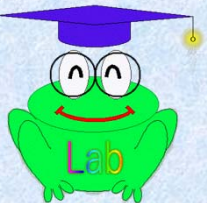



2013年5月22日(水)
つくば国際会議場にて



IRDA の役割

「IRDAは、つくば研究学園都市の国研、大学を支える研究開発型企業の集まりで、多様な分野で活動しています。近年、研究組織のプロジェクト化により、関連の薄い分野では横のつながりが希薄になってきました。このため、各プロジェクトの間を横断的に連携し、有機的な体制の構築が可能な産学官連携の在り方が必要となります。IRDAは、加盟34社による広い分野で研究や開発の支援と、また、これらを繋ぐ接着剤としての役割を自覚した活動しています。

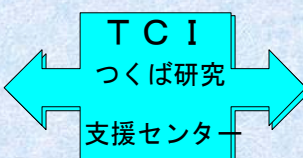




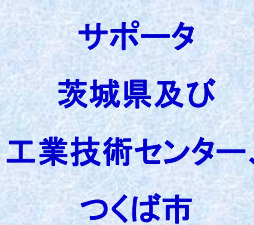
※※※ さあ、IRDAを活用して下さい ※※※

IRDAの構成

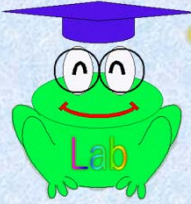
情報・システム系	2社
電気・電子系	3社
理化学機器系	5社
環境系	5社
材料系	2社
熱機器系	1社
機械系	10社
食品系	1社
真空装置系	2社
その他	1社




TCI
つくば研究
支援センター



サポータ
茨城県及び
工業技術センター、
つくば市

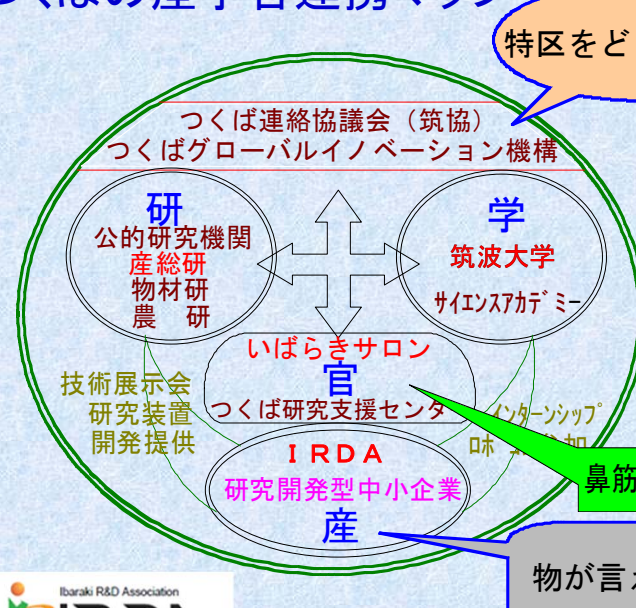


Lab



※※※ さあ、IRDAを活用して下さい ※※※

つくばの産学官連携マップ



つくば連絡協議会（筑協）
つくばグローバルイノベーション機構

研 公的研究機関
産 総研
物材研
農 研

学 筑波大学
サイエンスアカデミー

官 いばらきサロン
つくば研究支援センター

IRDA
研究開発型中小企業


産

特区をどう生かす？

研究開発に適した
新しい産学連携の
仕組みが必要
(情報交換を含めた
調達システムの見
直し)

鼻筋(情報経路)に問題ないか？

物が言える存在か？





IRDAの行動指針

1. IRDA会員が、IRDAの営業窓口として活動する。
2. IRDA内部での制作協力を通じて、コスト競争力を高める。
3. 共同受注や共同研究を通じて利益を生み出す団体に進化させる。
4. 会員相互に会員が抱える問題の解決に協力する。
5. インターンシップを産学連携の一環として活用して行く。

「つくば」は、日本の未来を実現するための実験都市
ECOをキーワードとして、新技術を開発していきます



IRDA

<http://irda.jp/>

jimukyoku@irda.jp

ツクバリカセイキ 株式会社

(IRDA事務局担当)

御静聴感謝します！



本 社

〒300-2622 茨城県 つくば市 要 212

Tel. 029-864-8230 Fax. 029-864-8228

Email : nakayama@trs-jp.com

代表取締役 中山 俊明 <http://www.trsjp.com>

